



全道美術協会賞受賞作品とともに岡野さん

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

①

今年の第69回全道展で最高0年前後から徐々に抽象画へ賞の全道美術協会賞を受賞した。釧路管内では1976年から「眠れない宙そら」をテーマに、その時々マに、その時々マの思いを織り

スプレーや剥離剤、ナイフなどを用いながら、塗っては剥がし塗っては剥がしながら絵を作っており、「壁を塗る職人のようだ」と笑顔を見せる。「描けるといいうことが一番。今後も描きたいと思う心がある限り描いていきたい」と話している。

釧路市生まれ。札幌の美術

思い織り込んだ抽象画

術賞受賞作家)以来38年ぶりの受賞だった。全道展は81年に初出品、初入選。2013年までに26回入選しており、このうち11年と13年には奨励賞を受賞している。

込んだ絵を制作している。今回の受賞作「眠れない宙Ⅱ」(F120号)は、不安から飛び出したいとの思いを込めた作品。「心の中に浮かぶものをスケッチし、キャンバスに向かうと勝手に手が動く。最初のスケッチとは全然違うものになっていく」とい

専門学校を卒業。25歳の時に国鉄(現JR)に入り、定年退職。現在は関連会社に勤務している。

(黒田文夫)

画家と彫刻家の姉夫婦の影響を受けて、20代前半から本格的に油絵を描き始めた。当初は具象画だったが、2000

公益財団法人釧新教育芸術振興基金の2014年度釧新郷土芸術賞受賞者に決まった2人の横顔を2回にわたって紹介する。

絵画 (油絵)

おさ み 岡野 修己さん(65) = 釧路市